



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第265号

2016年4月25日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

熊本地震被災者の方々にお見舞い申し上げます

4月14日、熊本地方を襲った大地震は、最大震度7を記録し、この1週間で震度7が2回、6強が2回、6弱が3回、5強が3回、5弱が7回など内陸型地震としてはかつてない規模の大地震が頻発しています。これら一連の地震によって、48名の方がなくなり、避難を余儀なくされている方が9万人ともいわれています。亡くなった方とそのご家族をはじめ、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

志位委員長が4つの緊急対策を提起

日本共産党の志位和夫委員長は21日、国会内で記者会見し、現地では、自宅倒壊の恐れや避難所に入りきれないなどの実態から、車中や屋外で泊ったりする被災者が多数にのぼっており、「エコノミークラス症候群」で亡くなった方など「震災関連死」が重大な問題となっていると述べ、せっかく地震で助かった命をこうした形で失うことは、政治の責任で何としても防がなければならないと強調し、4つの緊急対策を提起しました。

第一は、屋外で宿泊している人がまずは雨露をしのげるよう、テントを大規模に確保することなどを含めて万全の対策をとることです。そのために官庁、自治体、自衛隊、スポーツ業界などに供出を依頼することが必要です。

第二は、医療・保健体制を抜本的に強めて、「エコノミークラス症候群」や感染症を防止する態勢をとることです。

第三は、熊本県内外に安心して体を伸ばせる避難所を確保することです。すでに熊本県内外の自治体が公営住宅などへの被災者の受け入れを表明しています。政府がイニシアチブを発揮して、自治体間で連携した思い切った取り組みを行うことが必要です。地元から離れることへの不安の声にも応えて、一時的な避難やコミュニティーを壊さないような配慮などを丁寧に行うことです。

第四は、避難所の環境改善です。まずは最低限のプライバシーを守るための間仕切りをつくるなど、絶え間ない地震によって強いストレスのもとにある被災者の健康確保のために最大限の改善が必要です。

救援・募金にご協力お願いします

日本共産党市議団は、熊本地震への救援・募金活動などを強めます。また八千代市の防災のあり方・備蓄などについて対策の強化を求めています。

【募金の受付先】日本共産党中央委員会

郵便振替 00170-9-140321

加入者名 日本共産党災害募金係

通信欄に「熊本地震募金」と記入してください。

